

やいた未来ミーティング（子育て世代）会議録

日 時：平成30年9月29日（土）

10：56～12：25

場 所：すみれ幼稚園

出席者：市長

すみれ幼稚園父母会役員10名

1 開 会 10：56 進行：秘書広報課長

2 あいさつ 矢板市長

3 意見交換テーマ

「子育てしやすいまちづくり」

Q1

園長

支援学校とか支援学級の次に通級という手段がある。苦手な科目の時だけは、普段とは違う別の小学校に行って個別指導を受けることができる。だが、仕事をしていたり、足がなくて送り迎えが出来ないという方がいた。タクシー会社もシャープが縮小されると需要が減ると思うので、いつも通っている学校からタクシーで送ってもらえれば、利用者増えるのでは。

市長

発達障がいと診断されていなくても、ちょっと気になる子どもについては、早期発見、早期療育。小さい頃から就学前、就園前からそういった療育訓練を受けるというのは間違いないと思う。確立されている話だと思うが、どのような受け皿を創っていくかということ。

市の事業ではないが、塩谷広域行政組合で、片岡に「たけのこ園」という養育施設がある。親子通園は、療育上より有効だとは思いますが、今は共働きで、お母さんでも勤めている方が多い中では、ちょっと難しいかなと。たけのこ園の利用者もここ何年かで激減している状況。どの学校にも通級を設けるのは難しいが、センター的な機能を果たすようなところがあって、そこへの交通手段、足の確保まで含めてできればいいなとは思っている。

Q2

父母会

小学校が少なくて通学が大変だと実際に渋る。新居を建てる時に小学校はどこが近いか気になった。小学校が少なくて、遠ければ遠いほど親の負担が増えてしまうので。

市長

西小学校で言えば、もちろん廃止という形にはなるが、きちんとスクールバスを配置する。ただ、バスが日中は遊んでいる形になっているので、それをもっと使えないだろうかとか教育総務課で研究している。例えば、最近、部活動の選択肢が少なくなっていると言われてるので、各お家に運んだ後に、小さい学校から大きい学校へ子どもたちを運んで、部活動をしてから送るなど、中学校を含めてにはなるが。

父母会

うちの子は乙畑小に通っているが、少ないので一人ひとり見ている時間が長い。小学校が合併してもそういう手厚い教育が受けられるのであればそっちの方がいいが、人数が増えたら一人あたりで見る子どもの数が増えてしまうと低下してしまうのかな。

市長

乙畑小は小規模校の成功例だと思う。地域の皆さんが熱心に放課後子ども教室、乙畑ひまわりスクールに関わっている。今後もつつじが丘ニュータウンが学区になっていることもあり、これからもお子さんの数は増えていくというふうに予測をされている。さらに増える可能性があるし、地域の皆さんがしっかりサポートしている。

小学校は地域社会のシンボルだと思うが、減らしていく努力がないと、エアコンやトイレの様式化の話しにならない。エアコンで言うと塩谷地区2市2町の中で、さくら市・高根沢町・塩谷町これは普通教室、特別教室ともにエアコンの設置は100%。矢板では小中合わせて12校あるが、これまでエアコンが設置されていたのが泉小学校1校だけ。他は職員室とか校長室とかにはあるかもしれないが、普通教室にエアコンはないと思う。

Q3

父母会

すみれ幼稚園は、部屋に入ると意外と皆さんから涼しいという声が多い。今年は特に暑すぎたが、温度差がありすぎもどうかというところもある。

市長

今まで、トイレの様式化のが優先かと思っていたが、愛知県豊田市で小学1年生が亡くなったこともあり、エアコン設置に来年度以降は舵を取ろうかと思っている。目標は全校に設置する。設計の予算は9月議会に提出した。全国的にエアコン業者の取り合いになっているのが、ちょっと心配だが、来年の夏までにとっている。

Q4

父母会

子育て支援とは違った部分だが、矢板の魅力ってなんだろうと思うときに、モノはいっぱいあると思う。りんごもあるし、栃木県有数の花火大会もあるし、軽トラ市だって運営に関しては非常にいいなと思っている。ただ、人が減っている、高齢者になっているというのは世の中の流れではないこと。先ほど話していたエアコンの設備関係が遅れているなら、思いきってやってもらいたいと思う。個人的な話になってしまうが、矢板市は昔、サッカーのまちでPRしていた。

予算的に可能であれば、栃木S Cの試合での市民デー、ヴェルフェたかはら那須の子ども達がグリーンスタジアムで前座試合、選手と手をつないで入場、栃木S Cの選手が訪問してくれるといった部分も考えてもらいたい。

市長

サッカーについては、フットボールセンターの工事が10月中にスタートして来年4月位にはオープンできる。残り3分の1のスペースに、例えば、施設を建設して、子どもの遊び場みたいなものを入れたり、子育て支援拠点があたりという考え方があるかなとは思っている。

父母会

使い方にはいろいろな考え方があると思う。自分はサッカーをしているから、いいグラウンドができるなら、日本代表でなくても日本代表ユースとか、栃木県出身のサッカー選手を呼んだりして合宿してもらえればと思う。

市長

サッカーをしている方はともかく、ご年配の方は民設民営にして1億円にして10分の1にしても、1億円もかけるの？という意見もある。サッカーだけではなくて市民の皆さんの健康づくり、生きがいくりの拠点として、多くの市民の皆さんに使ってもらったりして理解者を増やす努力をしなければと思っている。

Q5

父母会

全国的に人口が減っていると話があったが、今回の件があって自分なりに調べたら全国の中でも人口が増えているところがある。企業誘致とか商業の集積で、すぐに人口は増えないと思うが、人の流れをまずつくりたい。矢板市をパッとテレビで見たとき、どこそれ？というようなことなので、PRがすごい弱いのではないかなと思う。

また、出産祝い金。矢板市は二人目以降3万円だが、私が以前住んでいたところは一回につき出産10万円もらえて、なおかつ結婚したら10万円もらえる。それなりにいろいろ条件はあるが、やっぱり子育てはお金が掛かるので、何らかの魅力がないと。どこに住むってなったときの選択肢になるかな。

市長

子育て世帯、子育て支援政策の決め手はなんなのかを、皆さん意見をいただきたいと思っている。小さいまちで財政力も決して強くないので、子ども医療費にしても、給食費にしても、出産祝い金にしても、保育料にしても全部トップクラスという訳にはいかない。全部トップクラスのまちというのは、予算的に余裕のあるところだと思う。

大田原市と矢板市の子育て支援政策を冷静に比較すると、そんなに変わらないが、大田原は学校給食費の無料化にかなりの財源をかけている。子ども医療費では大田原、那須塩原、矢板は変わらない。子ども医療費の現物給付とも思ったが、コンビニ受診が増えて、他の無償制度がそこに食われたりして財政的に重荷になっていると聞く。例えば、思い切って学力を上げる場所に使っている、保育料一人目から無償とかのインパクトがないと難しいかなと思う。

Q 6

父母会

私は日新小を卒業した。60人規模位であったが、当時は先生も地域も児童もみんなが一つだった。手を繋いでいるような感じでコミュニケーションが取れていた。みんなに見守られて成長した感じがあって少ない中でいろいろ経験も出来たし、勉強も良くみてもらえた。その環境で育ってきたので、大きい学校より小さい学校に魅力を持っている。現在、子どもは泉小学校に通っているが、豊かな自然の中でのびのびと子育てができるし、必要があれば那須や宇都宮にも行けるので、いい環境で生活出来ていると思っている。黄色いバスやタクシーの活用ができれば、過疎化に歯止めがきくのではと思った。ハード面に予算をかけることは難しいと思うが、ソフト面で地域の人との繋がりや世代間交流などを強めて持って行けたらいいのではないか。

市長

泉小学校は10年位前に日新・上伊佐野・長井を統合した。計画では廃止となっているが、委員会で現在検討している。ただ、中学校は教科担任制。正式な免許じゃない人が教えていたりというもある。

また、交通移動手段の整備の話があったが、今年4月から75歳以上の方については、市営バスの無料乗車券「ともなりパス75」配っている。ただ、バスの本数少ないので使い勝手が悪いこともあり、4月から80歳以上の方にタクシー券を月2枚。年間24枚を申請してもらえれば全員に配る事業をスタートした。それでも泉地区は迎車だけで730円かかるので、増やしてほしいと要望がでている。

父母会

泉中学校も60人くらいしかいないので、部活動ができないなと思う。泉小学校も野球部くらいしか年間通じて活動していない。あとは個人が努力して水泳、サッカーを習わせている。できれば学校で、団体でやってもらいたいと思う。

市長

部活については、例えば部活動ライナーとかお子さんを送って行った後に、泉小の黄色いバスで矢小に運ぶ。逆に矢小の生徒が泉小来るとか、というのがあったらいいなと思っている。

父母会

私は県外から来ている。矢板は住みやすい。トカイナカな所がちょうど良くて田舎ほど不便すぎず、都会ほどゴミゴミしてないので、子どもに窮屈な思いをさせるでもなく、これをアピールしていくだけでも充分かなと思う。日々の日常生活でちょっと不便なのは眼科がない。

フットボールセンターの話があったが、福島県に四季の里という公園があり、子どもが裸足で入ってボール遊びが出来る。今、本当にボール遊びが出来る公園が少なくなったなど。

矢板は長峰公園がすごく財産だと思うが、小さい住宅街の公園は使われずに荒れ放題。やっぱりボール遊びできる場所が減れば野球部に入る子も減る。部活の話にも繋がってくると思った。そのために学童にも使える、部活の送迎にも使える、放課後の習い事の送迎にも使えるような交通手段があればいいなというのが今聞きながら思った。それに

も繋がりつつ、ボール遊びものびのび出来るような場所。フットボールセンターの一角が空いているなら、こういう施設一個あるといいなと思った。

市長

フットボールセンターの跡地利用については、市民の皆さんの健康づくり、生きがいづくりの拠点として整備をするというような署名運動の趣旨に沿う形で整備して、出来れば子どもの遊び場的なものがやはりあると良いかなと。トコトコに比べると、ココマチのボールプールは見劣りするのではないかな。

父母会

使いやすいですよ。ココマチ。

市長

高校生の意見では、面白みが足りないですよ。みたいな・・・

父母会

閉塞感はある。大きい子じゃ遊べないが未就園児は助かる。あのくらいの広さだと目が届く。

市長

28年度にすみれ幼稚園の年長さんに聞いたらトコトコって言っていたが。

父母会

でも、トコトコは食べる時は一回出て、エレベーター乗ってカフェエリアに行く。ココマチはそういうわずらわしさはない。

市長

本当に自由に使えれば違いますかね。カフェエリアで充分？

父母会

毎日使うにはお金が掛かっちゃうと困るので。お金使いたくない方にとったらカフェエリアの方がいい。見ると欲しがっちゃう。

市長

ありがとうございます。

Q7

父母会

交通の環境は高速とか駅とかあるので、もう少し遊ぶところが。遊ぶところが市内で離れてしまうので、そういうところを充実してもらえればと思う。そうしたらもう少し増えるし良くなる。長峰にしても飽きてしまうし、雨が降ってしまうと遊べない。

市長

長峰公園の遊具なんかはどうですか。意外にせせらぎは好評。

父母会

プールはお金かかるし、いちいち着替えなきゃならないし。裸足でちょこっと入れるくらいがいい。本当に小さい子はせせらぎ水路の規模っていうのはすごく安心して見てられる。

父母会

高校生とかもはしゃいで遊んでいる。上流の方は大きい子で、下流の方は小さい子で

住み分けもできるので使いやすい。

市長

分かりました。ありがとうございました。

Q 8

父母会

私は小山市から嫁いできたが、小さい頃からお神輿とかイベント事が多かった。矢板市もふるさとまつりがあって、私も子ども連れて行って毎年行っていたが、噂でなくなると聞いたがどうか？

市長

ふるさとまつりは、8月に開催しません。今年は10月13日の花火大会と合わせて実施するので、全くなくなるわけではない。ただ、矢板はイベントが多いと言う声を聞く。お祭りの担い手というのも非常に少なくなってきていると。塩釜神社のお祭りも担ぐ人がいないので、大きいトラックにお神輿乗せてゆっくり走って我々が歩くっていうお祭り。お神輿これは本当に日本の伝統文化として守っていかなくてはいけないと思う。

Q 9

父母会

私は日光市。旧藤原町から矢板に来たが、私は小学校のときは電車通学。だから矢板に引越ししてきて便利ですごく住みやすく感じます。

市長

私も西小学校へはバス通学。当時は東武バスが矢板から新高徳まで、鬼怒川温泉行き鬼怒川公園行きまでありましたし、下今市まで東武バスがあった。

Q 10

父母会

私は今、木幡に家を建てて住んでいるが、木幡は開けてきて住みやすい所になっている。新興住宅。そういう場所が増えれば。

市長

矢板の交通は非常に便利な所だと思う。大田原と比べても、さくら市あたりと比べても、JRの駅が2つもあり、四号線も市の中心部を通っている。東北自動車道のインターチェンジもある。平成33年3月には下太田にもできる。そういった中で開けた住宅地がないというのは、土地改良事業を行った優良農地、農振農業地といわれている農地があるので、転用して開発するのはハードルが高い。

道の駅のところ、矢板那須線バイパスの沿線は道路が抜けても開発が進まないというのは制約があるからと思うので、緩和していかなくてはいけないと思っている。また、矢板駅の西側は法務局にある公図と実際の境界が合っていない。公図混乱地域ということで大規模な造成が出来ない問題がある。矢板駅の西側は非常に便利なところ。きちんと計画的な開発を入れれば、まだまだ人口が増える余地はあると思う。

Q 1 1

父母会

インフルエンザワクチンの助成をしてほしいと思っている。聞くと、65歳以上の人が千円で受けられると聞いた。家族全員で受けるとなると結構な額になってしまう。

市長

インフルエンザ予防接種の補助制度は塩谷郡医師会の中でも遅れている。現在は中学3年生と高校3年生。受験を控えている方が対象で、制度開始は早かったが、よその町が追いついてきて、中3、高3じゃなくても18歳以下とか、小学生以下は2千円。中学生は千円。中学生は毎年2千円とか、いろいろ工夫されてきているので、力を入れていきたいと思っている。

父母会

子どもが3人いると、その分負担が大きくなっていいかなくなってってしまう。

市長

現物支給でコンビニ受診が増えたり、他の重度心身者の医療費なんかも、国からの交付税が減ってしまう。交付税が減らされるなら、インフルエンザの予防接種に矢板は手厚いとか。あとは風疹ワクチンとか。

父母会

風疹は今だと親世代。2回目の予防接種の免疫が切れていて、妊婦さんに移すと大変。

父母会

現物給付はコンビニ受診が問題かもしれませんね。受け入れる側も負担になる。重傷者とか見る手がいなくなるくらいなら、考えなくてはいけないのかな。

市長

コンビニ受診とか、地方交付税のペナルティーとか言われるなら、インフルエンザの予防接種とか、学力向上のが良いかなと思う。こども医療費の申請は郵送でも受け付けている。

父母会

結構な量になってしまうが、今までみたいに何枚も書かなくて良いので。一年経ってしまったものがあって、申請し忘れは市では嬉しいだろうなと思っていたが、今の話を聞いて一年に一回の手間なら、インフルエンザ無償化してもらったほうが。

父母会

東小は必ず流行る。全部の学年で学級閉鎖になる。冬の行事にも差し障りあるし、うちなんか一番下が喘息なので、うつって欲しくないとは思っているので嬉しい。

市長

冒頭で言った「選択と集中」は、よく企業経営で言うが、市役所の仕事も選択と集中なのかな。特に矢板市みたいな、今まで広げすぎていた間があるところはやっぱりどこかに絞ってやっていかないといけないのかなと思っている。